

事務事業評価シート

(H.29)No.	6120	(H.28)No.	6120
-----------	------	-----------	------

事務事業名	保健体育総務一般経費		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	市民スポーツ室	田中 弘二	

会計区分	事業コード	520501
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 教育費	保健体育総務費	
項 保健体育費	(小事業名)	
目 保健体育総務費	保健体育総務一般経費	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	豊かな心と健やかな体を育み暮らせるまち
	基本施策	2	生涯学習・生涯スポーツの推進
	施策	2	生涯スポーツ
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
スポーツ・レクリエーション活動の普及と、円滑な運営及び市民の健康増進を図ります。
事業内容
・スポーツ施策推進にかかる事務管理経費 ・スポーツ推進審議会委員(10名)、スポーツ推進委員(30名)の報酬ならびに旅費等 ・各種研修会負担金、事務消耗品、学校開放にかかる事業費等

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.28年度(事業量・取組実績)		H.29年度(事業量・取組計画)		
	主な事業の実績・計画	・スポーツ推進審議会委員及びスポーツ推進委員活動費用 ・学校開放に関する事業費等 報酬1,162千円、報償費485千円、旅費156千円、需要費950千円、手数料29千円、使用料146千円、原材料費0千円、負担金412千円	報酬1,850千円、報償費450千円、旅費312千円、需要費950千円、手数料40千円、使用料250千円、原材料費80千円、負担金410千円	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)

	H.28年度(決算見込)		H.29年度(作成時予算額)		H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)
	H.27繰越分	H.28現年分	H.28繰越分	H.29現年分			
①直接事業費		3,348千円		3,895千円	4,342千円	4,342千円	4,342千円
内訳(千円)	国・県支出金						
	地方債						
	その他()		2,810		2,500	2,800	2,800
	一般財源	0	538	0	1,395	1,542	1,542
人工数	職員		0.40人		1.10人	1.10人	1.10人
	臨時職員等		0.30人				
②概算人件費	0千円	3,510千円	0千円	3,510千円	8,250千円	8,250千円	8,250千円
①+②総事業費	0千円	6,858千円	0千円	7,405千円	12,592千円	12,592千円	12,592千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.28年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
平成28年度から10年間の取組の指針となる「スポーツ推進計画」の策定を、審議会委員の意見をもとに決定しました。激励金については38件と前年度に比べると減少しましたが、全国大会出場者の励みとなっています。学校開放事業については、耐震工事により使用できない学校施設がありましたが、年間利用者数は約14万人と利用人数は増加しており、地域スポーツ活動の推進が図れました。スポーツ推進委員を中心に、ニュースポーツ等の研修・技術の習得・普及を図り、市民の生涯スポーツの契機・機会づくりに貢献できました。また、学校開放を通してスポーツ活動の振興が図れました。スポーツ推進委員は、各地域のスポーツ普及に貢献いただいています。また、学校開放での地域との繋がりを強化するため、運営協議会に参画いただき、地域の意見を反映していただいています。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(改善)
--	--------

今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)
「スポーツ推進計画」を基に、スポーツ・レクリエーションの振興、普及に取り組むとともに、適切に進捗管理を行います。スポーツ推進委員のさらなる資質向上に向け、研修会の積極的な参加を促進し、地域での役割を果たしていただくように働きかけていきます。また、学校開放事業については、引き続き地域スポーツの活動拠点として利用できるよう効果的に活用します。市民のニーズを的確に捉え、提供できる体制を整備するため、スポーツ推進委員との連携を強化し、地域活動を支援します。

6. 事務事業の取組に関する市の計画
名張市スポーツ推進計画